

第4回定例 議会報告



金子卓 堀江鶴治

年齢による差別 許せない 後期高齢者医療制度中止を



制度の中止・見直しを求める意見書採択は503自治体

全地方議会の27%
(2月1日現在)

しかし、常陸大宮市議会は 中止・撤回を求める請願を不採択に

同制度をめぐっては、抗議の署名が200万を超え、地方議会での意見書採択も503にのぼるなど、高齢者・国民の怒りが急速に広がっています。

国民の怒りは負担増に対するものだけでなく、75歳以上というだけで国保や健保から追い出され、保険料が年金から天引きされ、払えなければ保険証を取り上げられる、さらには、保険のきく医療が制限されるなど「高齢者が人間としての存在が否定された扱いを受ける」ことへの怒りです。

第4回定例議会（12月議会）には、市内全域から追加も含めて1300名を超える署名を添えて「後期

霞が浦導水事業の取水口建設 4漁協が中止求め声明

霞が浦導水事業で、国交省が那珂川取水口着工を関係漁協に一方的に通告した問題で、県内の那珂川・那珂川第一・緒川の3漁協と栃木県的那珂川漁連の4者は1月25日、取水口建設中止を求める共同声明を発表し、工事差し止め

高年齢者医療制度の中止・撤回を求める請願」が提出されました。しかし、賛成したのは共産党市議団だけで、市議会は12月20日の議会最終日、この請願を不採択にしてしまいました。県

社会保障推進協議会から出された「高齢者に負担増と差別医療を強いる2008年4月実施の後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願」も同様に不採択に

しました。



霞が浦導水事業とは

訴訟を起こす考えを明らかにしました。

同事業は1984年に着工され、事業総額1900億円、完成2010年で推進されてきました。

この事業の目的は、霞が浦や桜川・千波湖の水質浄化、那珂川と利根川の濁水対策、

保健福祉常任委員会を 傍聴して

12月11日、請願を審議した保健福祉常任委員会を傍聴しました。審議のなかで、委員長より質疑・意見を求められたが、堀江鶴治議員以外は発言がなく、採決になりました。公明党の吉川議員が「高齢者の医療制度は適切な措置である」という国に賛成する内容の反対討論をおこないました。堀江議員は、この制度は今の高齢者にはもちろん、これから高齢者になるすべての人を直撃するひどい制度だ。中止・撤回すべきです」と請願を採択するよう賛成討論をおこないました。

今回の審議の実況をみて、市当局も議員も制度の問題点や市の高齢者がどうなるかなど、諸調査がされていないことがわかり、怒りと情けなさに目のくらむ思いでした。

請願代表者 高沢記

学校給食の民間委託反対、 自校方式の継続を求める 請願も賛成少数で不採択

大宮・山方地域の方から追加も含め300名を超える署名を添えて提出された「学校給食（調理業務）の民間委託に反対する請願書」は、共産党市議団だけが賛成、反対多数で不採択とされてしまいました。

美和・緒川地域の方を中

介護認定を受けた方 の障害者控除

要介護認定者の障害者控除は、納税者本人が該当する場合だけでなく、扶養親族が該当する場合にも控除を受けることができます。金子議員は一般質問で、「丁寧な周知」を求めました。

霞が浦導水事業は「常陸那珂川」となると茨城県における「ムダな大型開発事業」の一つとして早くから共産党が批判してきた事業です。特に異なる水系を混合することによる双方の生態系への悪影響については、未解明の問題の発生が懸念されるとだけに愚行であると厳しく指摘されてきました。



**日本共産党
常陸大宮市議会報告**

2008年 2月 第4号 発行/日本共産党常陸大宮市議団

金子卓(岩崎272-4) 堀江鶴治(大岩23)

D(52)2422 D(56)3030

3月5日から
第1回定例議会

第1回定例議会は、3月5日から24日まで開催されます。傍聴をお待ちしています。

心に600名を超える署名を添えて提出された「自校方式の学校給食の継続を求める請願書」も、反対多数で不採択とされてしまいました。請願に賛成したのは共産党市議団と緒川地域の内田議員だけでした。

学校給食の請願を審査した生活文教常任委員会は、審査終了後、議会閉会中に調査する項目を決めました。同委員会に所属する金子議員は、「学校給食」も調査項目とするよう主張しましたが、反対多数で調査項目とはなりませんでした。

一般質問から



堀江鶴治議員

自校方式の学校給食を廃止した『行革』

皆さんの傍聴者が見守る中、学校給食のあり方を質問。教育現場や保護者の意見を聞かないでおこなった強引な『行政改革の進め方』等について9月議会に引き続き追及しました。

堀江議員 7月10日の行政改革推進本部で学校給食

第4回定例会議会(12月議会)は、12月5日に開会し20日に閉会しました。議会最終日に行財政改革調査特別委員会がまとめた「調査結果最終報告書」を行財政改革に関する意見書として賛成多数(共産党市議団2名および議員1名が反対)で可決し、市長に提出しました。

の民間委託等の決定に至る経過を質問します。総務部長 行政改革大綱の基本方針に従って検討した結果、経費の削減ができる事務事業と判断しました。堀江議員 学校給食は教育委員会の職務権限に属することなのに教育委員会等に十分協議なしに民間委託を決めたことが問題なのです。教育長 教育委員会としては、義務教育施設適正配置審議会等でPTAや地域の保護者の意見を伺っています。最初に教育委員の皆さんに意見を聞く場合は、1月の定例会です。やりました。市の行革大綱・集中プランを事務レベルで検討していました。

堀江議員 適正配置審議会では自校方式の廃止の審議はしていないことは会議録で明らかです。今回の経過をみると、教育委員会や学校・保護者の意見を聞かず、行革推進本部で決め、その具体化を教育委員会(事務局)の担当者で作成させたという経過ではないのか。これは、教育委員会の職務を軽視したやり方ではないか。9月議会では市長の答弁がなかったため、あらためて市長と教育長の答弁を求めます。教育長 学校給食は教育委

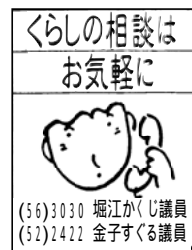


金子卓議員

『事業仕分け』と『行革』の問題

「行財政改革調査結果最終報告書」は行財政の健全化・効率化のトップに、事業仕分けの早期実施をあげ、次年度の予算化を要求しています。この問題を質問しました。

金子議員 各地の「事業仕分け」の実態をみると、福



員会がおこなうことになっているので、9月議会では私が答弁しました。市長 義務教育適正配置審議会、給食センター等を含めた整備の方針についても審議の対象となりました。教育委員会においても、学校給食のあり方について協議し理解を深める機会を設けています。

社・教育のサービスの切捨てなど多くの問題をはらんでいます。この背景には、「50兆円規模の宝の山」などと言って、「官製市場の民間開放」をめざす財界が仕分けを推進しており、「財界による財界のための仕分け」になっている事情があります。各地の仕分けでは、私の把握している限りでは、岡山市を除いて、住民代表は参加せず、構想日本などの「外部」の人間が中心となっています。しかも、ひとつの事業の「仕分け」に30分くらいしか時間をかけず、ベルトコンベアに乗せるように次々と処理します。

2008年度 予算要望書を提出

共産党の金子・堀江両議員は12月7日、矢数市長と坂本教育長に「2008年度予算編成と施策に対する要望書」を提出、市長と懇談しました。

要望書は、大企業や大資産家には減税を続けながら国民には負担増を押しつける逆立ち政治、町村合併による過疎化の加速と不安が現実となっている状況のなか、地方自治と市民のく

たしかに地方自治体の業務には、ムダなものもあり、住民の福祉・行政サービスを充実するために、効率的な行財政運営の努力をおこなうことは当然のことです。しかし、行財政改革は、あくまでも住民が主人公の立場に立って、地方自治法で規定している「住民の福祉の増進」をはかるものでなければなりません。「事業仕分け」がこうしたものではないことは明らかであると考えられるものです。市の見解を質問します。総務部長 当市としては、これにかわる事務事業評価実施要綱をもとに事務事業の評価をおこなっています。

しを守る立場からの131項目の施策を求めています。妊産婦健診の公費負担が5回にふえます

金子議員 厚労省の「5回程度の公費負担が原則である」との通知を市は受けています。すぐにも回数数を拡大すべきです。保健福祉部長 来年度から2回を5回にふやします。水洗が使えない中学校トイレ

金子議員 美和中と緒川中の男子トイレ(小)が配管がつかまっていて水洗が使えません。早急に全校の実態調査をして対策すべきです。教育次長 状況を十分把握し、トイレ環境の悪化がないようにします。緊急的な修繕は早急に対応します。

小学校トイレを洋式に 金子議員 小学校のトイレから洋式化すべきです。教育次長 小学校の低学年トイレは洋式化の方向で考えていきます。

共産党ならではのスクープ楽しみ しんぶん 赤旗 日曜版 毎月2,900円 日曜版 800円 日本共産党のホームページ http://www.jcp.or.jp/